

平成30年本宮市教育委員会1月定例会会議録

1 日 時 平成30年1月24日(水) 午後1時30分～午後2時27分

2 場 所 本宮市役所 3階 第1・2常任委員会室

3 出席委員 教 育 長 原 瀬 久美子  
教育長職務代理人(1番) 谷 明 子  
委 員(2番) 渡 辺 俊 之  
委 員(3番) 古 宮 博 文  
委 員(4番) 遠 藤 傳一郎

4 出席職員 教育部長 後藤 章  
次長兼幼保学校課長 菅野 安彦  
上席参事兼第一保育所長 国分 幸恵  
教育総務課長 渡辺 清文  
生涯学習センター長 鈴木 雅文  
参事兼管理主事兼指導主事 渡辺 敏弘  
指導主事 佐藤 義和  
指導主事 渡辺 博明  
(書記)教育総務課総務係長 渡辺 好晴

5 傍聴人 1名

6 案 件

- 議案第1号 平成30年度本宮市教育委員会重点施策について
- 議案第2号 本宮市教育振興基本計画策定計画(案)について
- 報告第1号 第36回上尾市市民駅伝競走大会への参加について
- 報告第2号 第12回もとみやロードレース大会について
- 報告第3号 平成29年度福島県算数・数学ジュニアオリンピック入賞報告について
- 報告第4号 平成29年度ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業「ふくしまっ子元気大賞」並びに「ふくしまっ子体力向上優秀校」の受賞について
- 報告第5号 インフルエンザによる出席停止者数について

7 審議経過

【午後 1時30分開会】

◇教育長 ただいまから、教育委員会1月定例会を開会いたします。

◇  
◎会議録署名委員の指名

◇教育長 会議録署名委員の指名を行います。

今回は、1番委員と4番委員にお願いをいたします。

◇  
◎議案第1号 平成30年度本宮市教育委員会重点施策について

◇教育長 議案第1号 平成30年度本宮市教育委員会重点施策について説明をお願いいたします。

◇書記 [議案第1号を朗読]

◇参事兼管理主事兼指導主事 議案第1号についてご説明いたします。

例年以上に朱書きの部分が多く目立ったのではないかとお考えかもしれませんが、こちらは平成30年度が現在の教育振興基本計画の最終年度、まとめの年であるということで、基本的には教育振興基本計画の全ての項目について扱うような形にいたしましたので、これまで最重点ではない項目として幾つか抜いていた項目も、基本的には戻した形になります。それで追加の項目がより多く目立ったのではないかとお思います。

また、表現の仕方についても、例えば四角の囲みの中のことは体言どめでまとめるということですとか、あるいは「継続」という括弧書きを各項目の末尾に追加して表記を今までしてきたんですが、基本的には全ての項目が毎年継続しているのが基本ということで、こちらの「継続」という表記は削除したいと思っています。新たに加わる新規のものだけ明示するというようなことで統一したいと考えています。また、その分項目が増えますので、説明がなくても内容がわかるようなものについては、説明文を削除して項目のみとして見やすくしたというような修正を行っております。順に見てまいります。

目次のページはこれまでと変わりありません。

それから、1ページから4ページまでは、こちらこれまでと変更点はありません。

5ページは修正点がたくさんありますけれども、主なもの、全体的なものだけお話をし、場合によっては後ほどご質問いただければ、細かな部分についてご説明したいと思っております。

上の基本理念から、「子どもの姿」等については修正点はございません。

重点目標のところでは青字の四角、上のほうにある部分ですが、こちらは左側から3つ変更しております。こちらは主な理由としては、来年度から学習指導要領が新しいものに対応していくということで、文言の修正を行っているところです。

さらに重点目標の中で、「未来を切り開く資質能力の育成」の項目、1番のところは「主体的・対話的で深い学び」の実現」というふうに、新しい学習指導要領の柱になっている文言に変えております。

以下、同様に、新しい学習指導要領に沿って修正したところが主なところです。

なお、この重点項目の3番目のところ、「家庭学習と読書の習慣化」ということにつきましては、県教委のほうから家庭学習スタンダードが示され、また本市としても読書活動の充実に大変努めておりますので、改めてここに項目を起こしております。

2番目の「豊かな人間性や社会性の育成」の項目につきましても、これまで「キャリア教育の充実」ということで、少し細かな項目で書いておりましたけれども、大きな項目で共通理解に立った積極的な生徒指導の部分、それから道徳教育の面、3番目に特別活動ということで、大きなくりでまとめております。

3つ目の「運動能力や健康な体の育成」ということにつきましては、「学校体育」というふうに表記をしておりましたけれども、さらに焦点化を図って「教科体育」、体育の時間ですね、「教科体育

における指導の充実」というふうに、さらに明確に示すようにしております。

さらに3番目の項目では、「家庭と連携」ということで書いてありましたが、本市では幼保小中の連携を進めておりますので、「家庭や幼稚園・保育所と連携した」ということで追記しております。

一番右側の「地域に根ざした学校づくりの推進」の項目では、さきにご説明しておりますとおり、来年度からコミュニティ・スクールに向けた準備が始まってまいりますので、それを大きな一番の項目として「学校と地域の連携・協働体制の推進」という項目を新たに設けたところです。

重点施策の部分につきましては、こちらは後ほど説明します主要施策、そちらとの整合性を図る形での修正が主なものとなっております。

基盤のところにつきましては、これまで「心のケア対策」としていたものを、内容をきちんと「いじめ・不登校、児童虐待など」と具体的に表記しております。右側の特別支援教育の充実の部分、それから学級経営の充実の部分についても同様に明確に表記をしたところです。

主な達成基準については、大きく変更したものはありませんけれども、例えば読書量の増加のところについては、利用頻度、そういった漠然としたものではなくて、明確に「図書室の貸出冊数」、あるいは家族読書での実際に読書をされた冊数などと明確にしたところです。

また、3番目の健康な体の育成の項目のところの基準については、本年度の新体力テストの結果を受けて、重点とする項目をそのように修正をしたところです。

保育所・幼稚園教育指導については5カ所ほど修正をしておりますけれども、1つは健全な心と体の育成、こちらは「対話的・応答的な温かなかわり」というような言葉を追加しています。こちら幼稚園・保育所についても、幼稚園要領、それから保育指針が来年度から新しいものに対応していくということになりますので、それにあわせて修正しているところが主なところです。

重点施策の1番目に「保育課程・教育課程」というふうに表記をしましたのも、今申し上げましたように幼稚園要領、それから保育指針の改定に伴うものということで明記をしたところです。

さらに、中ほどにノーマディアデーの推進、こちら幼稚園・保育所・小中連携の事業の中で進めているものですので、明記をして積極的に取り組みたいということで書いております。

幼保小中連携の推進の中で、これまで「学校体験」と表記しておりましたけれども、さらに幅広く「交流活動」ということで、中ほどに項目名称を変えております。

さらに、家族読書活動の推進について取り組んでいるところですが、こちら「【「家族読書」おススメ図書100選】」を明記することによって、さらに重点化を加えたいということの修正になります。

8ページからの主な施策の取り組み方針と実践事業のところですが、こちらは最初に申し上げましたような修正を行っておりますので、例えば基本目標1の施策1のところでは、四角囲みの中に、これまで省いておりました内容、①、②、③を追記しております。逆に、(4)番のところは「家庭教育支援の推進」という項目で内容がほぼわかりますので、説明文を削除したいというふうに考えております。

施策2のところでは、健康づくり推進事業の中で、「健康づくり推進事業補助の実施」ということを明記しております。

9ページも下の施策4のところ、「主な取組み」のところ、これまで細かな項目として挙げておりましたが、(1)、(2)、(3)、(4)、(5)まで、それぞれ預かり保育事業、一時保育事業、延長保育事業、子育て支援センター事業、幼保総合施設事業というふうに項目をきちんと整えたところです。

10ページ、基本目標2の施策1ですけれども、こちらは四角の中の上のほうですが、道徳教育の推進、こちらもお存じのとおり、道徳が来年度から特別の教科というふうな扱いになりますので、その充実を図るということで明記をしたところです。

その下のキャリア教育推進事業については「継続」を取る、あるいは文を体言どめにまとめるということの修正になっております。

以下、同様の修正を行ったところです。

11ページ、施策2につきましても、基本的には最初にご説明したような文言の統一、修正を行ったところであります。

下の2番のところでは、「国際理解教育の推進」について、きちんと(2)番の項目に追記しております。さらに、今年度からスタートしております「国内・海外派遣事業」についても、そのように明記したところです。

また、一番下の「ICT機器の整備」ということに関しては、機器の整備ももちろんなんですけれども、ICTの活用能力や情報モラルの育成ということにも、来年度、さらに力を入れたいと考えております。

12ページ、施策2につきましても文言の修正等が主なものでありますが、囲みの中の一番下のところですが、(4)として、これまで「体験活動促進事業」というふうに挙げておりましたが、「市民競技力向上対策事業」をここに挙げております。

施策4につきましては「特別支援教育の推進」、こちらはさらに力を入れるということで、(2)番にもう一度明記をしておるところです。

13ページ、施策の5です。

こちらは基本的に表現上の修正になります。

なお、これまで省いておりました(6)の「環境教育・エネルギー教育の推進」というのも再度挙げております。

14ページ、施策6につきましても項目の整理を行ったもの、それから(2)番、(3)番については、これまで一旦ここから外していたものを戻しております。

施策7につきましては、見やすくするために説明文を削除しております。

15ページ、基本目標3ですけれども、施策1、それから施策2ともに、こちらも表現の修正を行ったところです。

16ページの施策3、施策4についてもほぼ同様ですが、施策3については(2)番のところ「市内小中学校の学校司書との連携」ということで明示をしています。

17ページ、施策5、施策6、こちらも主に修正を行っています。

18ページの施策7、こちらも表現の仕方、あるいは説明文を削除する、そのような統一、修正です。

19ページ、基本目標の4、施策1ですけれども、各種の事業が終了したものもありますので、入れかえ整理をしております。

20ページ、最後の施策2ですけれども、こちらも例えば(1)、②の「放射能除染の推進」については、こちらは一度ここから削除しておりましたが、最終年度ということで全ての項目を挙げるという意味で、もう一度戻しているものです。もともと継続的に取り組んできていたものということになります。

この後、委員の皆様方からご意見をいただきながら、さらに修正を加え、さらには来週、校長会

議等もありますので、そちらでも意見を求めた上で、次回、2月の定例会の際に完成番をお示しできるように進めてまいりたいと思います。

◇**教育長** それでは、議案第1号に対する質疑を行います。

◇**2番委員** 保育所・幼稚園には、新規にノーメディアデーの推進と追加されていますが、学校のほうの指導の重点にはノーメディアデーの推進という記載はないように見えるんですけども、記載しなくてよろしいのでしょうか。

◇**指導主事** 重点施策をそろえたいところなんですけれども、本宮市はノーメディアデー、メディアコントロールデーというところで、小学校、中学校のほうとも連携しているところですから、こちらのほう、整合性をとっていくためにも加えるような形で検討したいというふうに考えております。

◇**2番委員** 学校によって週一回のところと、月に一回だけとなっているところもあるので、できればその辺も統一して実施できればよいのではと感じました。

◇**指導主事** 本市では学校区、中学校区ごとに生徒指導委員会を開催しておりまして、その中で検討していけることをございますので、次年度に向けまして、生徒指導委員会が2月に予定されておりますので、その回数をそろえることにつきましても提案し、検討していきたいと思います。

◇**4番委員** 先日、PTA会長と校長先生方が集まった中でノーメディアデーの話があって、非常に大切な取り組みではないかというようなPTA会長さんのお話もありましたが、学校によって取り組み方がばらばらだという話になりました。私も子どもたちを見ていると、スマホの使用頻度がとても多いと思います。本当に心配なので、しっかり浸透するような、そういった推進をしていただきたいなというふうに常々思っています。

◇**指導主事** 昨年いろいろ世間を賑わせたニュース等にも、子どものメディアが悪用されたということがありましたので、共通に足並みをそろえる段階から、今度はどれだけ実行力のあるものにしていくかというほうに舵を切りかえていく必要があると思います。先ほども述べました生徒指導委員会についても、その辺につきまして、より各校区の考えは別としながら、考えを深めていただけるように提案していきたいと思います。

◇**1番委員** 基本目標3の「未来を創造し、生きがいにつながる生涯学習」のところですが、この「主な取り組み」の(1)番、生涯学習事業のところの四角の項目に、「成人教育、女性教育、高齢者教育事業」という形で成人教育が区分けされているのですが、昔は、女性というのは家庭の主婦も多かったですので、その人を対象に中心に考えたいろいろな事業ということで考えられてきて、こういう区分けになっているのだと思うのですが、これが今もこのとおりのまま必要な区分けなのかどうかというあたりを担当の方にちょっとお聞きしたいと思います。

◇**生涯学習センター長** 女性教育のあり方については、以前とは考え方が変わってきておりまして、家庭との両立と、仕事をしながら子育てをする、そういった場合に、子育てをしている世代同士が希薄なつながりになってしまっていて、子育てなどの悩みを一緒に打ち解けて語り合うような友人関係、交友関係というのが非常に難しくなっているというのが現状でございます。

女性教育の中でもたくさんあるんですが、現在、生涯学習センターのほうで実施しておりますのは、主に子どもを育てている母親というものをメインとして年間の講座を行っております。

なお、女性教育ということで従来どおりの、なかなか社会に進出するのに難しかった、パソコンですとかそういったものも含めて行っておりますが、女性限定というものに関しましては、今言ったような子育て世代同士の交流といったものをメインとしてやらせていただいているところでございます。

◇1番委員 意見なのですが、子育ても、今は父子家庭のようなお父さんが子育てしている家庭もあり、かえって女性教育という形で銘打ってしまうと、お父さんが来づらい環境ができてしまうと思われれます。将来に向けて、例えば高齢者教育と言われれますと、若い人、興味があっても、ちょっとこれは高齢者対象なのかなとか、そのあたりの考え方というのも今後協議いただければと思います。よろしくをお願いします。

[発言する人なし]

◇教育長 それでは、質疑がなければ打ち切って、採決することに異議ございませんか。

[「はい」と言う人あり]

◇教育長 異議ありませんので採決を行います。

議案第1号を承認することに異議ありませんか。

[「異議なし」と言う人あり]

◇教育長 異議ありませんので、議案第1号は承認することに決しました。



### ◎議案第2号 本宮市教育振興基本計画策定計画（案）について

◇教育長 次に、議案第2号 本宮市教育振興基本計画策定計画（案）について説明をお願いいたします。

◇書記 [議案第2号を朗読]

◇参事兼管理主事兼指導主事 本宮市教育振興基本計画策定計画(案)についてご説明をいたします。

まず1番目として、計画策定の趣旨ですけれども、現在の本宮市教育振興基本計画現行の計画については平成26年3月に策定をしまして、5年間の計画期間で計画を立て、実施をしてきたところです。

現行の計画につきましては、ご存じのとおり、そこに掲げましたように4つの基本目標、そしてそれぞれの施策を掲げて取り組んできたところです。この間、子育て支援事業の充実、それから読書活動推進事業の展開など、こちらは教育事務評価委員会の中でも特に目立った成果が上がったということで評価をいただいている項目をここに述べましたけれども、そういった成果を上げてきたところであります。

ただ、この5年間の中でも、さらに社会の情勢も変化をしてきておりますので、改めて新たな教育振興基本計画を策定する必要があります。また、市の総合計画についても、改めて平成31年度から第2期の計画をつくるという段階に来ておりますので、それとの整合性を図りながら教育振興基本計画についても策定を進めてまいりたいという考えです。

下のほうの基本的な考え方というところに、今述べたように、本宮市第2次総合計画の教育分野における具体的な計画としての位置づけ、それから先日の総合教育会議でも確認されましたように、本宮市の教育の大綱としての位置づけということも含めて、新たな基本計画を策定していきたいというふうに考えております。

2ページ目の枠内は、法的な裏づけ等について挙げております。

計画期間につきましては、第2次総合計画の前期計画に合わせ、平成31年から平成35年までの5年間ということで考えております。

計画の策定体制につきましては、まず学識経験者や、あるいは市民の方々のご意見を多く取り入れて進めたいということで、今回も教育振興基本計画の策定委員会を組織し、ご意見を伺うようにしたいと思います。そこには学識経験者のほか教育関係の代表者、社会教育の代表者、体育協会、

文化団体、行政区長の代表、そしてさらには今回も一般公募の市民の方々の代表の方にもお入りいただき。また、専門の知識を持ったアドバイザーの方にも入っていただくことも、今、検討中になっています。その意見を受けながら、具体的な作業としては、庁内の作業部会、そして係長級を中心にしたワーキンググループで具体的な文言等を策定していくというような手順になります。

大まかなスケジュールですけれども、今年度中に基礎となる資料等の収集、それから作業部会、ワーキンググループ等の組織のスタートを切りまして、平成30年度に入ってから、そこに掲げましたように、今のところ予定としては3回の策定委員会、それから途中で市民の皆様からのパブリックコメントを経て、ほぼ1年後、来年の1月の定例会のころまでに計画案の策定をして、委員の皆様にご審議をいただきたいというふうに考えております。最終的に市議会等への報告も行った上で、平成31年4月から実施に移していきたいというふうな考えです。

6番目、計画の構成については、現行の計画と同じものを基本として掲げています。大きく変更するということは今のところ考えておりませんが、ただ、市の総合計画のほうがどのような構成になるか、あるいはどのような表現になるかということに合わせて、できるだけ整合性をとるような形で項目は設けていきたいというふうに思っております。

さらに、その他、繰り返しになりますが、現在の計画、前計画を土台として策定するということと、昨今さまざま学校の負担の軽減等の話もありますので、さまざまなアンケートや調査物を出して学校現場を混乱させることなく、できるだけ既存の資料ですとか、あるいは国の調査結果等、活用できるものを基礎資料として取り組んでいきたいと。前は最初の策定でしたので、市民の皆様の意向等、細かな資料が必要で、大規模なアンケートを実施したりしたところなんですけれども、今回はそういったところは極力行わずに、既存のものをもとにして計画を立てていきたいというふうに考えています。

なお、最終的には、市の総合計画の策定の進行に合わせて、土台となる市の計画が固まらないうちは、なかなかこちらも固めるというのは難しい部分があるのですが、それを一歩、後追いするような形の進行になるかと思っておりますが、このような計画で進めたいと思っております。

なお、5ページ、6ページには、策定委員会の設置要綱の文案を参考のために載せておきましたが、こちらについては再度内容を吟味した上で、次回、2月の定例会の際に、要綱制定について改めてご提案したいと思っております。

◇**教育長** それでは、議案第2号に対する質疑を行います。

◇**4番委員** 市長との総合教育会議には、日程的なものは入ってこないのでしょうか。

◇**参事兼管理主事兼指導主事** 進行の状況にもよりますが、来年度の総合教育会議が開かれたときには、当然これも話題として挙げるようになるかと思っております。

◇**4番委員** ほかの市町村を見ると、そういう中で大分議論された経過が議事録に載っていたものですから、ああいう中で協議するのだなど、各市町村でやり方は違うんでしょうけれども、そういうものがありましたので参考までに。

◇**参事兼管理主事兼指導主事** ご意見ありがとうございます。

総合教育会議の開催時期等もありますので、担当部局と協議しながら、できるだけ多くのご意見を受けて、いい計画ができるように努めてまいりたいと思います。

◇**教育長** 県でも総合教育会議の中で、この議題についての話し合いをしていますので、うまく合えば、それをやっていく必要があるなと思っております。

[発言する人なし]

◇教育長 それでは、質疑がなければ打ち切って、採決することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

◇教育長 異議ありませんので採決を行います。

議案第2号を承認することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

◇教育長 異議ありませんので、議案第2号は承認することに決めます。

---

◇

◎報告第1号 第36回上尾市市民駅伝競走大会への参加について

◇教育長 次に、報告事項になります。

報告第1号 第36回上尾市市民駅伝競走大会への参加について説明をお願いいたします。

◇生涯学習センター長 上尾市との交流事業といたしまして、本宮駅伝で優勝した本宮小学校チーム、中学生男子選抜チーム、一般チームの計3チームが、代表といたしまして上尾市駅伝競走大会へ参加いたします。

本宮駅伝大会の規約改正によりまして、中学生につきましては、優勝チームから選抜チームという形に変更となっております。なお、一般チームにつきましては、今年度から駅伝に対する強化ということで一般チームが出場という形になってございます。

期日は2月10日から11日の1泊2日の行程で、参加人数は小学生12名、中学生6人、一般の5人、指導者4人、引率として市職員2人の総勢29人となります。

参加者につきましては、資料4ページの上尾市駅伝競走大会参加者名簿をごらんください。

なお、詳しい上尾市駅伝の情報につきましては、5ページから10ページのほうに書いておりますので、資料のほうをご参照いただければと思います。

◇教育長 それでは、報告第1号に対する質疑を行います。

〔発言する人なし〕

◇教育長 質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

---

◇

◎報告第2号 第12回もとみやロードレース大会について

◇教育長 次に、報告第2号 第12回もとみやロードレース大会について説明をお願いいたします。

◇生涯学習センター長 4月15日に開催を予定しておりますロードレース大会が、午前8時15分に開会式をふれあい夢広場、白沢公民館前の屋外ステージで行います。

教育委員の皆様にも大会役員、参与といたしましてご案内をさせていただきますので、ご出席いただけますよう、よろしくをお願いいたします。

レースは午前9時に親子の部を皮切りに、全28部門で行われます。

表彰式は、各部門ごとに表彰準備ができ次第行いますので、教育委員の皆様にも、当日はよろしければ表彰のご協力をお願いいただければ幸いです。

大会の終了時刻につきましては、正午を予定しております。

なお、参加人数、部門ごとの申し込み数等の詳細につきましては、申し込み締め切り後の3月12日に確定いたしますので、別途ご報告申し上げたいと思っております。

◇教育長 それでは、報告第2号に対する質疑を行います。

◇1番委員 去年はとても大盛況で、たくさんの方がいらして下さって盛んに行われたというふう



に記憶しているのですが、そのときに何かの模擬店をもう少し数を増やしてもらえないかという意見があったと思いますが、今回の計画に対しては何か変更点というか改善点というのがありますか。

◇**生涯学習センター長** もとみやロードレース大会につきましては、もとみやロードレース実行委員会というものを開催しております、昨年寄せられた意見、インターネット等に寄せられた意見等、苦情及びお褒めの言葉もありますが、そういったことに対しては一つ一つ検討し、対応をさせていただいております。毎年毎年、それで少しずつ改善させていただきまして、年々苦情のほうは少なくなっているというふうな状況でございますので、昨年寄せられた意見に対しましては、実行委員会のほうで検討、それが実施できるものであれば、全て改善していきたいというふうに考えてございます。

飲食につきましては、前は余り並ばずに食べられた。ただ、引きかえ券がはがきと一緒にだったということがわかりづらかったという意見がございますので、恐らくその辺で、食べられなかった方がいらっしゃるのかと思いますので、その辺についてはわかりやすいように改善させていただきたいというふうに考えてございます。

◇**教育長** そのほか、いかがでしょうか。

[発言する人なし]

◇**教育長** では、質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

[「はい」と言う人あり]

---

◇

### ◎報告第3号 平成29年度福島県算数・数学ジュニアオリンピック入賞報告について

◇**教育長** 次に、報告第3号 平成29年度福島県算数・数学ジュニアオリンピック入賞報告について説明をお願いします。

◇**次長兼幼保学校課長** 去る1月18日に、教育長への入賞報告会の際の資料でございます。

平成29年度福島県算数・数学ジュニアオリンピックにつきましては、16ページのチラシのとおり、昨年10月22日に県内7カ所で開催されまして、県内から児童生徒1,269名が参加しております。

本大会に出場しました本宮小学校6年の八下田康介君が、見事銀メダルを獲得しまして、今年1月5日に福島市の県文化センターで行われました表彰式において表彰されました。

この大会につきましては、県が算数・数学への関心や論理的な思考力の向上を目的に、平成24年度から毎年開催しているもので、今回は過去最多の参加者となっております。

以上で入賞の報告とさせていただきます。

◇**教育長** それでは、報告第3号に対する質疑を行います。

◇**3番委員** こちらは市内からは何名ぐらいの児童生徒が参加したのか教えてください。

◇**指導主事** 小学校で7名ぐらい、中学校も2、3名、合計10名以内というところでした。

◇**4番委員** これは先生方が引率していくわけではなく、父兄と一緒に行って参加するような、学校としての行事ではないわけですね。

◇**指導主事** まず、日曜日開催ということもありまして、学校のほうを通して案内はいたしますが、あくまでも保護者引率という形をとっております。

◇**4番委員** こういうことをきっかけに参加者が多くなって、それで理数系の、理系の女子も出てくるみたいですから、とてもよいことだと思います。

◇**教育長** では、質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

◇  
◎報告第4号 平成29年度ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業「ふくしまっ子元気大賞」並びに「ふくしまっ子体力向上優秀校」の受賞について

◇教育長 次に、報告第4号 平成29年度ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業「ふくしまっ子元気大賞」並びに「ふくしまっ子体力向上優秀校」の受賞について説明をお願いします。

◇指導主事 平成29年度ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業「ふくしまっ子元気大賞」並びに「ふくしまっ子体力向上優秀校」の受賞について報告します。

ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト事業は、福島県が児童生徒の運動習慣の形成や体力向上のために特徴的な取り組みを実践している学校を表彰しているもので、平成27年度から第6次福島県総合教育計画のアクションプランに位置づけられている事業でございます。

受賞は、体力の向上に向けて特色ある取り組みを実践している学校として「ふくしまっ子元気大賞」、福島県全体で小学校15校の表彰の中で、五百川小学校が表彰されることとなりました。上から5番目の五百川小学校です。テーマが「伝統（走る五百川）」と「新しい工夫（運動身体づくりプログラム）」で体力向上！という形で受賞となっております。

また、右側26ページになりますが、体力の向上に顕著な成果が認められた学校として「ふくしまっ子体力向上優秀校」として、福島県全体で中学校10校の表彰の中で、本宮第一中学校が受賞、表彰されることになりました。下から7行目ですね、こちらの本宮第一中学校のほうに表彰されております。

表彰式は2月16日、福島市で行われる予定になっております。

◇教育長 それでは、報告第4号に対する質疑を行います。

◇1番委員 五百川小学校も一中もすばらしいことだと思いますが、このプロジェクト自体はどういうことをやって、これを受賞なさったのかという内容について教えていただきたいと思います。

◇指導主事 こちらの報告なんですけれども、直接学校のほうから県のほうに行き、それで表彰結果だけ戻ってきておまして、現在、確認中のところです。

先ほど生徒指導委員会というお話をしましたけれども、体力向上委員会というものもございますので、そちらのほうで、こちらの成果のほうを各校に広めていきたいというふうに考えております。

直接担当の先生にお聞きしたところですが、もともと伝統で走ることについては力を入れていたんですが、運動身体づくりプログラムということで、体育の授業の最初の5分、10分程度を使ってトレーニング運動を繰り返しているんですが、それに強化をして、学校全体で共通理解を進めており、リズム太鼓や犬走りなどを継続して行った成果が出たというような表彰だというふうにお聞きしております。

◇1番委員 意見なのですが、これはプロジェクトということで、五百川小学校だけでなくいろいろなアイデアが、そういうことで体力向上に非常に寄与するという受賞なのでしょうから、ぜひ、各学校はどんなことかということその委員会や皆さんで勉強なさって、取り入れられるものは積極的に取り入れていただいていたらいと思います。よろしく願いいたします。

◇4番委員 応募票の活用ということで、「ふくしまっ子元気大賞book」というものを作成するようですが、そういうものを取り寄せて各学校で参考にされるのでしょうか。

◇指導主事 例年、応募校の取り組みが冊子にまとめられているところですが、こちらは各校に配布となるとお思いますので、こちらのほうもあわせて、次年度の体力向上委員会で周知を徹底し、活用

していきたいというふうに考えております。

◇**参事兼管理主事兼指導主事** 若干補足をさせていただきます。

実は、五百川小学校につきましては、昨年度と今年度、福島県教育委員会のほうで体力向上のためのプロジェクト事業、補助事業がありまして、その指定をいただいて取り組んできました。もともと「走る五百川」ということで運動には力を入れていた小学校なんですけど、そういったこともあって県のほうで指定をされ、2年間、指導者を派遣していただいたりというような補助を受けて取り組んできました。その成果が、今回この「ふくしまっ子元気大賞」の成果に結びついたと。

あわせて、「運動身体づくりプログラム」というのが表記されていますが、実はこれを中心となって作成した体育教員が、去年から同じく五百川小学校の教諭として勤務をしております。そういった好条件が重なって、素晴らしい実践ができたということで、今回大賞を受賞したものというふうに思われます。ですので、委員の皆様からご意見がありましたように、次年度以降、その取り組み等を他の学校にも広めていければというふうに考えているところです。

それから、中学校のほうの「ふくしまっ子体力向上優秀校」につきましては、本宮第一中学校は昨年度に引き続いて2回目、2年連続の受賞になっております。こちらは実際の運動能力のテストの結果等で、実際に大きく向上した項目が見られた学校について選定をされておりますので、こちらは本当に学校の日ごろの取り組みが評価されたものというふうに考えられます。

◇**教育長** 本宮第一中学校は、今、説明があったように2年連続です。体力テストの結果が一覧表になってきましたけれども、本宮市の中学校は全体的にすごくいいんですね。その中でも、特に一中がいいという感じでしょうかね。

それから、五百川小学校の先生につきましては今回指導員になっていただいて、その中で実践の発表をしました。これは本当に素晴らしい発表でした。私たちも聞く機会があったらいいかなと思うほどの取り組みの発表でした。

それでは、質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

---

◇

### ◎報告第5号 インフルエンザによる出席停止者数について

◇**教育長** 次に、報告第5号 インフルエンザによる出席停止者数についてお願いいたします。

◇**次長兼幼保学校課長** 市内の保育所、幼稚園、小中学校におけるインフルエンザの感染状況について報告をさせていただきます。

資料2ページが、1月23日現在の市内のインフルエンザによる子どもの出席停止者数でございます。総合計というのがその中ほどにございますが、107名で、増加傾向にあります。

市内では、今年に入りインフルエンザの感染者が増えてきた状況にありまして、出席停止者の増加による学級閉鎖の状況でございますが、資料の下のほうにございますが、白沢中学校の1年2組につきまして、1月24日から26日まで学級閉鎖を行っております。

また、記載はございませんが本宮第二中学校、本宮まゆみ小、和田幼稚園、この3カ所で学級閉鎖を先週以前に行っております。さらに、本宮二中におきまして、明日から2クラス閉鎖ということで、先ほど情報が入ってまいりました。

福島県内の状況としては、全域で流行が続いている状況にありまして、感染者数が5,061名となっております。

例年の傾向ですが、感染者のピークが1月中旬から3月上旬となりますので、今後も推移を注視

していきたいと考えております。

◇教育長 それでは、報告第5号に対する質疑を行います。

特に中学3年生はこれから大切な時期を迎えますので、十分手洗い、うがい等をしっかりと、かからないようにさせていきたいと考えております。

◇3番委員 今、インフルエンザの予防接種というのは個人で、市ではやっていないのですか。

◇次長兼幼保学校課長 補助は出ていますが個人となっております。

◇3番委員 団体で接種できたらよいと思いました。

◇4番委員 私の職場も1人でも欠けられると困るので、全員強制的にインフルエンザの予防接種はしています。子どもたちは受けていない方たちも結構いますよね。

◇3番委員 もう今は遅いですがけれども、来年度ぐらいから予算要望の中にそういうのを取り入れられないでしょうか。結構いいサービスだと思うんですけれども、子どもに全員インフルエンザの予防接種をしますというようなことはどうでしょうか。

◇次長兼幼保学校課長 来年はちょっとまだ何とも、やる内容についてわからないので、今後まず調査したいと思います。

◇1番委員 多分、副作用の問題とかがあって、なかなか難しいのではないのでしょうか。そういう話を聞いたことがあります。

◇教育長 質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。

〔「はい」と言う人あり〕

---

◇

#### ◎その他

◇教育長 それでは、そのほか事務局から報告等がありましたらお願いします。

〔「ございません」と言う人あり〕

---

◇

#### ◎次回開催日程について

◇教育長 なければ、次回教育委員会の日時を決めたいと思います。

〔次回開催日程について協議〕

◇教育長 では、次回教育委員会は2月22日、1時30分からといたします。

---

◇

#### ◎閉会の宣告

◇教育長 これをもちまして、教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

【午後 2時27分開会】